

組 番 氏 名

次の説明や資料を読んで、あとの問題に答えましょう。



山本さんの学校には、近くの潟かたと同じ自然をもつビオトープがあります。このビオトープでは、この地域の動植物を守り育てています。

ビオトープで育てている「クロメダカ」は、「在来種ざいらいしゅ」です。「外来種がいらいしゅ」との混血が進み、クロメダカは減へってきています。クロメダカは「絶滅危惧種ぜつめつゑいけんしゅ」に指定されています。

山本さんは、身近なクロメダカが絶滅危惧種だということにおどろき、どんな外来種があるのかと思いました。そして、総合的な学習の時間を使って、インタビューをしたり、インターネットや新聞の記事を使って調べたりすることにしました。

初めに、昨年度の「子ども環境サミット」で知り合った環境保護レンジャーの石川さんをたずねて、インタビューをしました。

潟 <small>かた</small>	ビオトープ	在来種 <small>ざいらいしゅ</small>	外来種 <small>がいらいしゅ</small>	絶滅危惧種 <small>ぜつめつゑいけんしゅ</small>
もともと海だったが、陸地によって切りはなされ、池や湖になったもの。	環境保全のため、特定の動植物が住みやすいように、人が環境を整えた場所。	もともと日本にいた動植物。	外国からやってきた動植物。	固有の動植物が減って、地球上からいなくなったりなくなったりするおそれのある生物。

【環境保護レンジャー石川さんへのインタビュー】

山本 ぼくたちの学校のビオトープのクロメダカは、絶滅危惧種なのですか？

石川 そうです。在来種のクロメダカが外来種と混血し、新しい種しゅが生まれています。この地域のクロメダカもいなくなってしまう危険があります。

山本 そんな大変なことになっているのですね。それでは、クロメダカ以外の日本の「外来種」について、その名前や日本に入いって来た理由を教えてください。

石川 「ブラックバス」という魚がいます。ブラックバスは、つりを楽しむ目的で、外国から入いってきました。

山本 どんなことが問題なのですか。

石川 ブラックバスは、それまで池や沼ぬまなどにいたコイやフナを食べてしまうことが分かってきました。そのために、在来種の数かずが減へっていることが問題です。

山本 大変なことですね。池は、ブラックバスだらけになってしまいかもしれないのですね。他には、どんなものがありますか。

石川 「アライグマ」も外来種です。アライグマは、かつてはペットとして日本に入ってきた。それが、にげたりすてられたりして野生化しました。日本には、アライグマの天敵がおらず、繁殖力も高いために数が増えています。そのため、家畜をおそったり、農作物を食べてしまったりする問題が起こっています。

山本 アライグマは、ペットとして入ってきたのですか。他にそのような動物はいますか。

石川 「カミツキガメ」もペットとして入ってきた。体長五十センチまで成長し、かめば、人間の指を骨折させるほど危険な動物です。このカメも野生化し、川岸が立ち入り禁止になる場合もあるほどです。

お祭りなどでよく見かける「ミドリガメ」も外来種です。正式には、「ミシシッピアカミミガメ」と言います。一九五〇年以降、アメリカからペットとして輸入されたものです。やはり、捨てられて野生化している生き物です。

山本 ミドリガメも外来種とは、驚きました。

石川 虫にも外来種がいます。「セイヨウオオマルハナバチ」というハチも外来種です。このハチは、トマトやナスのハウス栽培で、受粉を助けるために、外国から入ってきた。このハチが花粉をつけてくれるので、これまで人間の手でやっていた仕事もなくなり、農家のみなさんは、本当に助かっているようです。

しかし、セイヨウオオマルハナバチがにげて野生化すると、えさや、巣を取り合ったりすることにより、それまでいた在来種のマルハナバチが住みかを失うことになります。外国から連れてこられたハチは大きいので、体の小さい日本のハチは、追いはらわれてしまうのです。

山本 虫にもあるのですね。植物にも外来種があるのですか。

石川 はい。「オオキンケイギク」という美しい黄色い花の植物は、主に見て楽しむために、日本に入って来て、緑化などに利用されてきました。

繁殖力が強く、川岸などを美しくいりますが、いつの間にか、在来種のカワラナデシコなどを絶滅させてしまっています。

山本 本当に日本にはたくさん外来種があるのですね。

石川 魚や動物、虫や植物など、実に多くの外来種が、私たちの周囲にいます。

もともと日本にいた動植物を守るためには、外来種をつかまえたり、数を減らしたりする駆除も考える必要があります。

山本さんたちのように環境を整えて「クロメダカ」のいるビオトープをつくるのは、在来種を守るための一つの取組です。

山本 在来種を守っていくことは大切なことなのです。

問いー 石川さんが話してくれた外来種は、何種類でしょう。

種類

問い二 次の表は、石川さんが話してくれた外来種についてまとめたものの一部です。AとBに当てはまるものをあとの【あ】〜【く】より選んで記号を書きましよう。

動物名			
ブラックバス	入って来た理由	むつりを楽しむため。	外来種が引き起こす問題
アライグマ	ペットとして飼うため	在来種を食べる。	
セイヨウオオマルハナバチ	人間の手を使わず、花粉をつけ受粉させるため	家畜をおそっている。農作物を食べる。	
マルハナバチ	ペットとして飼うため		
	A	B	

【あ】 セイヨウオオマルハナバチが在来種のマルハナバチを食べる。

【い】 セイヨウオオマルハナバチは、繁殖力が強く、数が増えやすい。

【う】 セイヨウオオマルハナバチは、農家で飼われているので、安心・安全である。

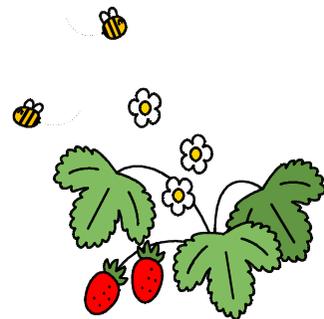
【え】 セイヨウオオマルハナバチは、体が大きいので、体の小さいマルハナバチは住みかを失い、追いはられてしまう。

【お】 ペットとして飼うため。

【か】 人間の手を使わず、花粉をつけ受粉させるため。

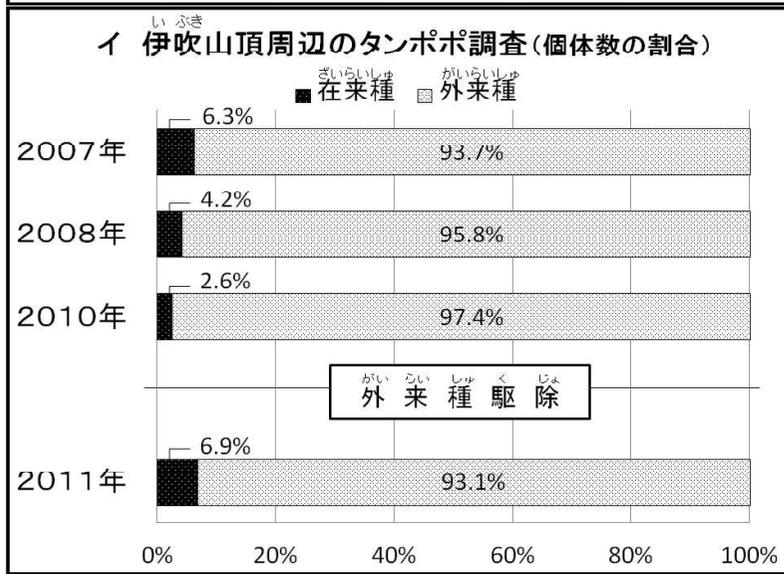
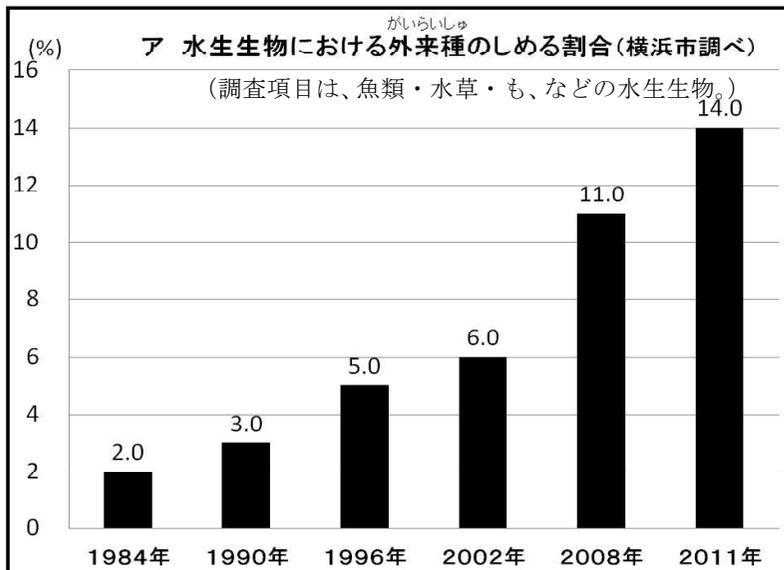
【き】 つりを楽しむため。

【く】 見て楽しむため。



山本さんは、外来種による問題やそれに対しての取組をもっと知りたいと思い、インターネットや新聞などで調べることになりました。

【資料一】



ウ 人間生活に被害を与える動物に対する成人の声

* 別の所に動物の住める場所をつくる	52.1%
* 共存できるように、さくで防ぐ	40.6%
* 駆除するべき	40.1%

## 【資料一】

### エ ブラックバスと一部のつり人

外来種を放すことは禁止されているが、一度つったブラックバスなどを池や湖に放す人がいる。自分がその場所ですりを楽しむためについやってしまおうそうだ。そのせいで、在来種の魚は数を減らしている。

### カ アライグマ捕かく調査から

人里に下りてきて農作物を荒らすと言われていたアライグマを、市民の税金を使って捕かくし、実態調査を実施した。今後、この県内にいると言われている四〇〇頭のアライグマをすべて捕かくする計画もある。

### ク 小笠原の作戦

小笠原諸島では、海によってへだてられた小さな島において、独自の進化をとげた多くの在来種を保護するために、上陸する人に、くつの底の土やバッグのポケット、衣服に植物の種が付いていないかを確認し外来種を持ちこまないようにさせている。結果、小笠原では、外来種との混血が進まず、在来種による自然が保たれている。

### オ 「トンボ池」づくりで

在来種の生きる場所を復元する

全国ですでに四〇か所近く在来種を保護するトンボ池が整備されている。昔の子どもたちが親しんだ水辺を復元し、水田や湿地を再現し、水生生物を植えたら、二十二種類のトンボが飛来した。少し時間はかかるが、地域や学校やPTAが協力し市民ぐるみの活動が行われている。

### キ 沖縄マングースの悲劇

マングースは、毒へびハブを駆除するため、約九十五年前に、外国から沖縄に来た。一九八一年には、二〇〇〇羽いたヤンバルクイナという鳥が、現在一〇〇〇羽以下になっている。減ったのは、マングースがヤンバルクイナを食べたことが原因だと言われている。これまでに、マングースが五〇〇〇頭捕かくされて処分された。ところが、三か月間に九羽のヤンバルクイナが交通事故死亡したことがわかった。ヤンバルクイナの減少の原因は、マングースでなく、交通事故であることが有力。

資料… インターネット・新聞・事典情報を  
出題者改変

資料を読んで、在来種を守っていくために、「外来種を駆除する」立場と、「在来種を保護する」立場とがあることがわかりました。

問い三 「在来種を保護する」取組についての資料はどれでしょう。【資料二】から、二つ選び記号で書きましよう。

--	--

あなたは、資料を使って、自分の意見を、今年度の「子ども環境サミット」で発表することになりました。

**問い四** 次の【構成メモ】を参考に、【資料一】・【資料二】を見て、六つの【条件】を満たして、「外来種を駆除する」立場か、「在来種を保護する」立場での意見文を書きましよう。

題名や氏名を書かず、一行目から書き始めましょう。  
なお、メモは採点しません。

**【構成メモ】**

終わり	中		始め
<p>④ <b>あなたの考え</b></p> <p>このように、 以上のことから、</p>	<p>③ <b>【資料二】から</b></p> <p>資料</p> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 10px auto;"></div> <p>資料□によると、 資料□にあるように、</p>	<p>② <b>【資料一】から</b></p> <p>資料</p> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 10px auto;"></div> <p>資料□によると、 資料□にあるように、</p>	<p>① <b>「外来種を駆除する」</b></p> <p>か、「在来種を保護する」</p> <p><b>のどちらかの立場の表明</b></p> <p>わたしは、と考えます。</p>

**【条件】**

**条件一** 〓 線（三六〇字）以上、四〇〇字以内  
で書きます。

**条件二** 自分の意見を伝えるために、上の【構成メモ】に、**【資料一】**から一つ、**【資料二】**から一つ資料を選び、**資料の記号を文章中に入れて**書きます。

**条件三** 必要などころで行をかえて、**四つのだん落**で書きます。  
「始め」↓一だん落  
「中」↓二だん落  
「終わり」↓一だん落

**条件四** 「中」で**【資料一】**を使う際には、必ず、根拠となる**数値**を使って考えを書きます。

**条件五** 「中」で**【資料二】**を使う際には、必ず、**資料の言葉**を引用して、考えを書きます。

**条件六** 「終わり」には、あなたの考えを「中」の資料につなげて書きます。



